# 徳地町報

昭和45年12月1日発行
第183号

発行者 徳地町役場
編集者 徳地町村積
印刷所 今澄印刷所


## 歳末助けあい ご協力のお願い

町、町社会福祉協議会では、例年どおり十二月一日から十九日までを「歳末助けあい運動」期間として、皆さん方のあたたかいご協力をお願いしています。

昨年は、現金八万七千七百三十円、白米六石八升、玄米五斗八升その他、雑穀、日用品などたくさんのご芳志がよせられ、各施設や町内の恵まれない方々に贈られたいへん喜ばれました。

ことしもどうぞよろしくお願いいたします。

## 12月の税金

第3期 固定資産税
第6期 国民健康保険税
納期限 12月25日まで

早めに完納して、明るい気持ちでお正月を迎えましょう。

# 財政状況の公表

地方自治法および徳地町財政状況の公表に関する条例の規定により、昭和四十五年度下期における徳地町の財政状況を次のとおり公表いたします。

昭和四十五年十一月三十日

徳地町長 長嶺政男

この公表は、毎年二回、五月および十一月のそれぞれ末日に町財政の実情を町民皆さんにご報告するものであります。

本年度の予算の状況等については、そのつど町報でご報告しておりますので、今回は、昭和四十四年度の決算状況（見込み）を中心にご報告いたします。

なお、表中にでてくる数字は決算統計によりましたので、決算書の数字とは、多少異なる場合もありますので、お含みおきください

## はじめに

最近中央においては、地方財政好転論がいわれていますが、過疎現象の激しい農山村の財政は、ますます厳しさを増しております。

本町の財政状況もご他聞にもれず、その典型的なものとなっております。

昭和四十四年度の決算状況からみますと、歳入面においては、新規の財源は見られず、むしろ四十三年度に比べて、二、九%の収入減となっております。

一方、人件費をはじめとする義務的経費や道路整備、生産基盤の整備拡充等の生活水準や生産機能の向上のための財政需要は、年々増高しております。

歳出総額中に大きな比重を占めている建設事業が、継続事業の完了などにより、一五%程度の支出減となっているにもかかわらず歳出総額においては、前年度に比べてわずかに一%程度の歳出減にとどまっております。

このような厳しい財政環境の中で、今後、町民皆さんにより高度のサービスを提供し、行財政水準の向上を期するためには、国、県に対する折衝を深めることはもとよりですが、自らの行財政運営の改善をはかることによって、財源の確保に努め、諸施策の遂行に努力を重ねる所存であります。

ここに財政状況の公表にかえて昭和四十四年度の決算状況をご報告申しあげて、皆さまのご批判を仰ぎ、あわせて、格段のご協力とご鞭撻をお願い申しあげる次第であります。

## 昭和44年度 一般会計歳入決算見込み表

（単位千円）

| 歳入区分 | 44決算 年度額 | 構成比 % | 調定額に対する比率 | 43決算 年度額 |
|---|---|---|---|---|
| 地方税 | 66.607 | 13.1 | 93.1 | 62.117 |
| 自動車取得税交付金 | 9.159 | 1.8 | 100.0 | 5.931 |
| 地方交付税 | 188.595 | 37.0 | 100.0 | 172.263 |
| 内訳 普通交付税 | 174.591 | 34.2 | 100.0 | 159.437 |
| 内訳 特別交付税 | 14.004 | 2.8 | 100.0 | 12.826 |
| 交通安全交付金 | 130 | — | 100.0 | |
| 分担金、負担金 | 12.518 | 2.5 | 73.4 | 17.385 |
| 使用料、手数料 | 2.120 | 0.4 | 84.4 | 1.946 |
| 国庫支出金 | 33.450 | 6.6 | 100.0 | 34.198 |
| 県支出金 | 53.738 | 10.5 | 100.0 | 59.715 |
| 財産収入 | 36.096 | 7.1 | 99.4 | 70.284 |
| 寄附金 | 100 | — | 100.0 | 404 |
| 繰越金 | 27.233 | 5.3 | 100.0 | 20.515 |
| 諸収入 | 33.164 | 6.5 | 98.4 | 28.599 |
| 地方債 | 47.000 | 9.2 | 100.0 | 48.000 |
| 歳入合計 | 509.910 | 100.0 | 97.9 | 521.357 |

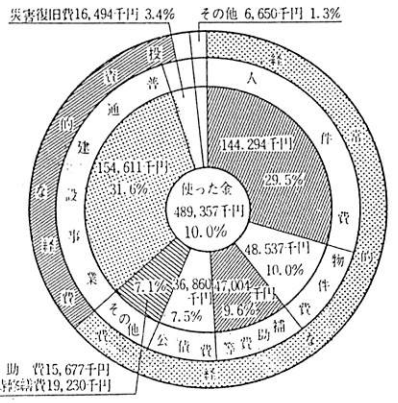
## 昭和44年度 一般会計歳出決算見込み表

昭和44年度は、歳入5億991万円余、歳出が4億8、935万余円で差引1、955万円余りの黒字決算となる見込みであります。

円グラフの性質別の支出内容とあわせてごらんください。 （単位千円）

| 歳出区分 | 44決算 年度額 | 構成比 % | 一般財源 | 43決算 年度額 |
|---|---|---|---|---|
| 議会費 | 9.359 | 1.9 | 9.359 | 8.896 |
| 総務費 | 91.681 | 18.8 | 77.899 | 99.972 |
| 民生費 | 38.275 | 7.8 | 16.096 | 32.416 |
| 衛生費 | 13.609 | 2.8 | 11.393 | 12.155 |
| 農林水産業費 | 150.354 | 30.7 | 61.990 | 146.367 |
| 商工費 | 1.467 | 0.3 | 1.419 | 1.599 |
| 土木費 | 55.788 | 11.4 | 36.001 | 69.203 |
| 消防費 | 7.053 | 1.4 | 6.301 | 7.293 |
| 教育費 | 68.410 | 14.0 | 54.586 | 59.253 |
| 災害復旧費 | 16.494 | 3.4 | 4.657 | 3.122 |
| 公債費 | 6.494 | 7.5 | 34.222 | 53.849 |
| 歳出合計 | 489.357 | 100.0 | 313.923 | 494.124 |

性質別にみた歳出決算見込み




## 44年度 各特別会計決算見込み状況

（単位千円）

| 会計名 | 歳入 | 歳出 | 差引 |
|---|---|---|---|
| 国民健康保険事業勘定 | 93.523 | 88.545 | 4.978 |
| 上同 直診勘定 | 11.751 | 11.197 | 554 |
| 住宅改修資金貸付事業 | 1.278 | 1.272 | 6 |
| 交通災害共済事業 | 6.294 | 4.492 | 1.802 |

上表中、国保事業勘定の黒字497万余円は、医療費の予想外の減少が主な原因です。交通災害共済事業180万円の黒字は、45年度分共済掛金を前年度に受入れるためのもので、実質的黒字ではなく、当然翌年度へくりこすものです。

# 犯罪や事故のない明るいお正月を

〈年末防犯運動〉

年末年始になりますと、私たちの周囲には、殺人、強盗、暴力などの血なまぐさい事件や、青少年の犯罪の増加、交通事故の激増など、かずかずの黒い牙がその傷を残そうとします。

特に歳末は、一年の総決算期で正月を迎えたいものです。

次の点にご注意ください。

◎ 戸締りを第一に

◎ 不完全な錠は、この際早く修理するか取りかえましょう。

◎ 寝るまえや家をるすにするときは、かならず戸締りをいたしましょう。

◎ 戸締りは、家の表側だけでなく、勝手口や便所、風呂場、二階の窓なども忘れないようにしましょう。

## 現金の手持はあぶない

▽ 手持ちの現金は、なるべく金融機関に預けましょう。

▽ 手もとにおく場合でもタンスや本箱などの引き出しなどはよくねらわれますので、ドロボーの気のつかない場所にしましょう。

▽ 商店などでは、売上金をまとめておかないで、次々に預けるように心がけましょう。

▽ 金の出し入れ、持ちはこびには人目につかないようにくふうしましょう。

▽ このほか年末には、スリ、ひったくりなどもふえます。盛り場では十分注意しましょう。

**不審者のはいかいするときはすぐ警察に届けましょう**

万一被害にかかったときは、現場に手をふれずに、すぐ警察へ知らせましょう。

**交通法令をよく守り、いつでもどこでも飲酒運転、スピード違反や無免許運転は絶対してはいけません。**

## FASのつどい

新南陽市で

県では、毎日新聞社と共催で毎年十二月に児童福祉〃FAS〃のつどいを開催しています。

これは、こどもたちが健やかに育つよう、県下の各地で活躍を続けている人たちを招いて、日ごろのご苦労をねぎらう目的で開かれるものです。

したがって、このつどいには児童収容所の職員、保育所の保母や保健婦、里親、児童委員、保護司家庭相談員、母子相談員、母子福祉協力員、身体障害者相談員、精神薄弱者相談員、こども会指導者少年補導員、青少年育成県民運動地区推進員、BBS会員などが招待されることになっています。

FASとは、

◎ 友愛（フレンドシップ）

◎ 躍進（アドバンス）

◎ 奉仕（サービス）

右のそれぞれの頭文字をとったもので「こどもの生活にあたたかい理解とおもいやりをかけよう」「こどもの将来にしあわせと希望を与えよう」「こどもの成長に喜んで力となろう」の三点を目標にした運動です。

ことしは、十二月六日に新南陽市体育館で開催されます

## 知事への年賀状を

新年を迎えて広く県民の皆さんから、県政についての身近なご意見、ご要望をお聞きするとともに建設的なご提言を求めて、県民皆さんが県政に対して、なにを望みなにを期待しているかをは握するため行なうものです。

また、県民に県政の正しい認識を深めるとともに、県政への積極的参加意識を深めようというものです。

〃この声をぜひ知事へ〃

官製はがきに住所、氏名、年齢、職業、性別を明記し、十二月二十五日から一月十日までの間に、山口県広報課「知事への年賀状」係付け、山口県知事橋本正之あてにお送りください。

## 書き損じ葉書は銀行へ

一金、七百五円

これは、大字島地下市、草野英男さんよりひろった金の報償としてもらったものを寄贈されたものです。

## 第十六回徳地町駅伝競走

### 十二月五日小雨決行する

恒例の徳地町駅伝競走は、ことしが第十六回ですが、きたる十二月五日（小雨なら決行します）午前九時役場前庭で開会式、午前十時のスタートで、全コース七区間二十六キロ六百メートルで争われます。

沿道はもとより、町民皆さまのご声援をお願いします。

解説　No.2

# 都市産業の雇用増大

## 若壮年層の流出による

## 徳地町の過疎現況

本号からさる九月二十四日の町議会で議決されたあらましをのべますが本号では徳地町の過疎の概況をのべましょう。

### 徳地町の概況

本町は、山口県のほぼ中央部に位置し総面積二八八、三九平方キロメートルという全国屈指の広面積を有し、かつ一郡一町という全国に稀な町域を形成しております。

本町の人口の推移を国勢調査の上からみますと、昭和三十年の町制施行当時は二万七十一人であったのが、三十五年には、一万六千七百七十人、四十年の国勢調査では一万四千百九十三人、先般行なわれた四十五年の国勢調査の人口概数が一万二千五百六人と、人口は年々減少の一途をたどっております。

本町は、米作、林業を中心とした第一次産業を軸として、第二次産業に属する製材業、酒造業等が少数あり、第三次産業である商業部門は相当数あります。

これらのうち、第一次産業の就業人口が昭和三十五年には、六千四百七人であったのが、四十年には、四千六百八十八人と五年間に千七百余人も減っているのをみても人口減少の影響がいかに大きいものがあるかがわかると思います。

また、この就業人口も、ますます老齢化の一途をたどりつつあるという状況であります。

一面、町民所得の状況をみますと、四十三年が二十万七千余円で全年の山口県平均の二十七万八千円に比べて、かなり低位にあるということです。

この現象は、臨海工業地帯の雇用の増大に伴ない、農業と通勤労働の増加となってあらわれており、いわゆる外貨獲得に貢献している反面、過疎現象にますます拍車をかけているともいえましょう。

### 町行財政のあらまし

こうした過疎化現象の激しいなかで、町は八米Ⅴと八畜産Ⅴを二つの大きな柱として、住民福祉の向上と住民所得の拡大等につながる諸行政を担当しながら、地方公共団体本来の任務を遂行しております。

一方町財政の状況を簡単にのべますと、昭和四十二年の歳入決算額四億二千三百余万円、歳出決算四億二百万円であったのに対して四十三年度は、歳入五億二千二百余万円、歳出四億九千五百余万円に達しています。

しかしながら、町の自己財源である地方税の伸びはいたって低く歳入総額のなかで占める地方税の割合は、四十二年が一三、八%、四十四年が一三%と年々低下している現状です。

町の財源収入のうち、大きなウエートを占めるのは、地方交付税で、四十四年度は三七、二%を占めています。次いで地方債九、三%など主なものです。

歳出面、特に建設事業費の占める割合は、四十二年度が三六、一%、四十四年度が三一、六%となっています。

一方消費的経常的経費は、歳出総額の五六、一%を占めておりこれまた年々増高の傾向にあります。

今後の産業構造の高度化、住民の生活水準の向上により、行財政はますます多様化し、これに伴なう財政需要も大幅に増加することが予想されるのであり、この点に大きな問題点があると思われます。

（次号へつづく）

## 買物メモ

### 飲むなら　普通牛乳を

「安い牛乳には、防腐剤が入っているそうよ」とか「学校給食の牛乳は水で薄めてあるそうな」などという妙な噂が、さももっともらしく、伝えられているようですが、あなたもこの話を信じられますか？

牛乳は、次のように成分規格が厚生省で定められています。

▽乳脂肪分　三%以上
▽無脂固形分　八%以上
▽比重　一、〇二八～一、〇三四
▽酸度　〇、二〇%以下
▽細菌数　五万以下
▽大腸菌群　陰性

などと、それぞれ規制されています。

したがって、防腐剤を入れることは、考えられないことです。

こうした疑問を確かめようと山口市一の坂川生活学校のお母さんたちは、保健所と消費生活センターの協力で、市内に販売されている、いろいろなメーカーの牛乳十五種類について検査し、いっしょに勉強しました。

その結果、乳脂肪分は、すべて三、二%以上で、その他の成分も規格にはずれた品は、一つもありませんでした。

なお、加工乳は、普通牛乳よりも割高で、むしろ普通牛乳を多く飲む方がよい、ということも数字の上で、はっきり示されました。

## 狩猟・空気銃の携帯・運搬・保管上の注意

狩猟シーズンに入って、各地で猟銃などによる事故が発生しています。保管するとき、銃と弾丸を同じ場所においていたため、こどもが持ち出してその友人を撃って負傷させた。あるいは、弾丸を装てんしたままおいていたため、こどもがこれにふれて暴発し、兄弟を殺した事例もあります。

また、酒に酔って銃の手入れ中に妻を撃って殺したなど、悲惨な事故が多く発生しています。

銃はひとたびその操作を誤りますと、取り返しのつかない大事を引き起します。そこで、猟銃や空気銃の取り扱いには、次のことを守りましょう。

◎　銃を携帯し運搬するとき

△　いつも銃袋などの適当な容器に入れ、猟場につくまでは銃を出さないようにすること。

▽　弾丸の装てんは、発射の必要がおこる直前に行ない、単なる携行、運搬の場合は絶対に装てんしないこと。

▽　銃を携帯し、運搬するときはかならず「所持許可証」を持つこと、また狩猟の場合は、狩猟免状を忘れずに所持すること。

◎　銃を保管するとき

▽　保管中は絶対に弾丸の装てんをしないこと。

▽　いつも安全な錠のかかるロッカーなどに入れ、そのカギを自分が管理すること。

▽　銃を保管するときは、分解しての機能を失なわせて保管する

▽　無脂固形分

（牛乳のなかの蛋白質など）

△　銃の保管場所に弾丸をおかな

（警察だより）

## ねずみの駆除　今が一番よい時期

寒い時期は、ねずみの駆除に最適のシーズンです。

ねずみを駆除するには、残飯などを整理する兵糧攻め、ねずみの通路をふさぐ交通妨害を見つけて取り除く住居破壊などの環境的駆除法とパチンコ、生捕りかごによる機械的駆除法や、イタチとかテンなどの動物による生物的駆除法などがあります。

このうち、もっとも効果的なのは、環境的駆除法と殺そ剤による駆除をあわせて行なうことです。

殺そ剤を仕掛けるときは、残飯などを取り除き、かならず物かげに夜仕掛けるようにします。

仕掛ける期間は、五日から八日以上連続して十分な量を仕掛けて全部なくなったら、翌日からは増量し、やたらと仕掛け場所を変えてはいけません。

殺そ剤による駆除を行なった後は、よく清掃し防そ網の使用、ねずみの通路を防ぐなどの環境的駆除のほか、殺虫剤の散布も忘れてはいけません。

ねずみの駆除は、一軒だけで駆除しても、短時日の内に隣りのナワ張りから侵入してくるものです。

そこで、地域ぐるみでいっせいに行なわないと、その効果がうすいものです。

民生係または各支所へどうぞ。

## 自衛官募集

防衛庁では、二等陸、海、空士の募集を、明年三月三十一日しめきりで行なっております。

年齢は、満十八歳から二十五歳未満の男子となっています。応募についてのご相談などは、町民課

## 公認第1回　防府読売マラソン大会

### 12月27日右田～下畑折返しで開催

先般、防府市右田中学校より、徳地町字下畑の間のコース、42、195㎞の路線が、日本陸上競技連盟の「公認マラソンコース」として認定されました。その第1回の

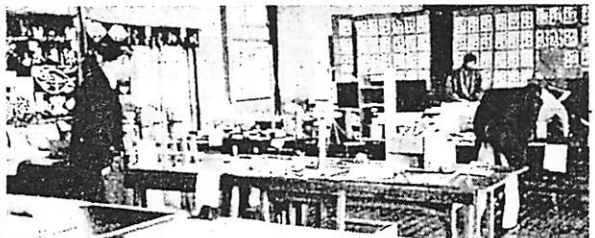
マラソン競技が12月27日正午

右田中学校を出発し、徳地町下畑のバス停留所の手前で折り返し、決勝点右田中学校前までの上記「公認コース」で行なわれます。

このマラソン競技は、中国陸上競技協会、山口県教育委員会防府市、防府市教育委員会、徳地町、徳地町教育委員会、防府市体育協会、読売新聞社の共同主催で行なわれるものです。

このマラソン競技には、日本陸上競技連盟に登録された選手が参加して行なわれるのであり、本町でこうした競技が今後行なわれることは、たいへん喜ばしいことです。

コースの沿道にあたる皆さんはもとより、町民皆さまの多数ご声援くださるようお願いいたします。



（写真説明）

（上）は、10月31日堀中体育館で行なわれた小学校音楽会。（中）は、同日開催せられた小中学校文化展覧会の一コマです。（下）は、11月13日中央公民館で盛大に開催された「徳地町社会教育振興大会」の一コマです。

## こどもの知能を高めるには

犬や猫は、生まれて半年もたてば、一人前になりますが、人間のこどもは、十年たってもまだ一人前になれないのはなぜでしょう。この間、人間の成長エネルギーはどこに貯やされているのでしょうか。そうです。脳髄の成長にすべて集中されるのです。

たいへん非科学的な表現のようですが人間の幼児期は、身体の発育を犠牲にして、脳髄の発育を急いでいるのです。

専門医の話によりますと、人間の脳の重さは、生まれて八か月までに三百グラム、二才六～七か月までにまた三百グラム、最後の三百グラムが十五、六年かかって発育するそうです。

もちろんこれは脳の重さですから、そのまま知能とは考えられませんが、脳髄そのものだけをみても、三才までに三分の二以上の発育をとげるのです。

そこで、幼児教育にとってもっとも大切なことは、脳の生長度が著しく高いこの時期に、しっかり知能を高める訓練をしなければ伸びないということです。

知能を伸ばす訓練ができておれば、おのずから情緒も安定し、社会性も向上します。

それでは、どうすれば知能を高める訓練ができるのでしょうか。お互いによく考えてみましょう

## 大みそかは

大みそかは、こどもたちにも手伝ってもらって、新年のご用意はお昼すぎまでにすませましょう。主婦も台所仕事は早めに切りあげて、家族そろってテレビを見たり、年越しそばをいただきながら除夜の鐘をきき、心を澄まして新しい年をお迎えください。